

日本文化を英語で紹介しよう

Let's explain our culture in English!

監修：江口裕之
(CEL 英語ソリューションズ最高教育責任者)

私たちの文化について英語で説明する場合、それに関する知識も必要です。皆さんならどう表現しますか。

日本人はどうしてNoって言わないの？

Why do the Japanese tend to avoid saying "no"?

日本人にとって調和の取れた人間関係を保つことがとても大切です。Noときっぱり述べて物事を拒否したり拒絶したりするのは、そのような調和を乱し、思慮深さに欠けると思われるのです。

Maintaining harmony in interpersonal relationships is very important for the Japanese. Refusing or rejecting something by flatly saying "no" can disrupt the harmony, and is often seen to be inconsiderate.



point 日本は、豊かな自然に恵まれている反面、自然災害などの危険が多い国でもあります。そのような地で安全・平和に生きていくためには、地域の人々が協力し合い、調和の取れた人間関係を保つことが大切です。Noときっぱり断ると、その調和を乱すかもしれません、思慮深さに欠けると日本人は考えます。そこで、相手に配慮して、「難しいですね」や「考えておきます」などと述べて、さり気なく断ることが多いのです。しかし、このような返事を英語で言うと、誤解を招いてしまうことがあります。That's difficult. では、YesかNoか分からないし、I'll think about it. では、了解しているように聞こえます。そこで、英語を勉強する日本人はよく、Yes、Noをはっきり言いましょ、と教えられる。しかし、曖昧さは日本文化の大切な一面です。むしろ、「難しいですね」や「考えておきます」という言い回しは、日本ではNoを意味するという文化の差をきちんと外国人に伝えておくことの方が大切かもしれません。

「先輩」ってどういう意味？なぜ人を名前で呼ばないの？

What does senpai mean? Why do the Japanese avoid using real names?

日本では、目上の人を敬うことが大切です。人を名前で呼ぶのは、お互いに対等の立場であることを示すので、目上の人に対しては礼節を欠くと思われかねません。そのため「先輩」という言葉を用いるのです。

In Japan, respecting people of higher status is important. Addressing someone by their name suggests they're of equal status, which could be considered as offensive. That's why people use the term *senpai*.



point 「先輩」は英語で senior と訳すことができます。本来は自分よりも年上の人を意味しますが、ある物事を先に行った人を指すこともあります。先に始めた人は自分よりも知識があるはずなので、その人への尊敬の気持ちを表すために「先輩」という呼び方をします。しかし、人を名前で呼ばない習慣に違和感を持つ外国人もいるでしょう。日本は儒教の影響で、上下関係を重視し、地位が高い人や年上の人を敬うことが大切とされます。人を名前で呼ぶことは、お互いが対等の立場だと示すことになるので、目上の人に対しては失礼な態度だと思われることがあるのです。これは会社などでも同じです。部下が上司を名前で呼ぶことはほとんどなく、一般的には係長、課長、部長、などの役職名で呼びます。一方、社外の人と話すときは、自分の上司であっても名前を呼び捨てにします。これは、外の集団に対し、自分の集団をへりくだることで、相手に敬意を示すためです。

「おもてなし」って何？

What is *omotenashi*?

「おもてなし」は日本式の歓待で、主人はあらゆる方法で客をもてなす一方、客は全てを主人にお任せします。おもてなしは、両者の強い絆と信頼に基づくものなのです。

Omotenashi is the Japanese style of hospitality, where the host goes to great lengths to entertain the guest, while the guest leaves everything up to the host. *Omotenashi* is based on strong bonds of mutual trust.



point 「おもてなし」を、英語で *hospitality* と言いますが、その意味は微妙に違います。欧米の *hospitality* には、例えばホテルのサービスのよう、*guest* (客人) の希望に全て応えるのが *host* (主人) の役割だという考えがあります。日本のおもてなしでは、例えば茶会の作法のように、客は何も希望を述べず、全てを主人に任せます。主人は、生花、掛け軸、茶道具、さらには、身振りや言葉を通じて、客を迎え入れます。それらは時に遠回しな表現で、客はそのおもてなしを敏感に察知し、感謝の気持ちを表します。このように「おもてなし」は主人と客が一体となって作り出すもので、両者の間に強い絆と信頼関係を築いていくことが大切なのです。さて、日本人が、Which do you like, tea or coffee? (お茶とコーヒーどちら?) と聞かれて、Either is fine. (どちらでも) と答え、相手を戸惑わせることがよくあります。このような「相手にお任せ」という姿勢も、おもてなしの概念からきていると言えるでしょう。

日本人はどうして感情を表に出さないの？

Why do the Japanese tend to hide their emotions?

日本人は直接的な言動を、礼節を欠き下品であると感じる傾向があるため、間接的な表現や仕草を多く用います。同じように、本当の感情は表に出さないのがより成熟した態度だと考えるのです。

The Japanese tend to think being direct lacks courtesy and refinement, so they use a lot of indirect expressions and gestures. Similarly, they think it is more mature to keep their true emotions hidden.



point 日本人は、それぞれが近い性質を持っている民族と言えます。そのせいもあり、コミュニケーションのとり方は高度になり、間接的なやりとりになり重きを置くようになりました。例えば、和歌は平安時代に貴族たちのコミュニケーションの道具として親しまれ、また、室町時代には生花や水墨画など、暗示的なメッセージを伝える表現が発達しました。日本人が間接的な表現を好む理由を、神道に関連付けて考えてみましょう。神道の神は自然現象と似ていて、その姿は見え、何かを語ることもありません。神からのメッセージは、四季ごとの自然を通して私たちが読み取るわけです。そんな神々とのやりとりが、人間同士のコミュニケーションにも影響を与えたと思えます。日本人は、直接的で率直な表現を、マナーに反した下品なものだと感じるようです。本当の感情は表に出さず、本音は言わずにしまっておく、というのがより成熟した態度だと考えられているのです。